

2022ワークキャンプ 1 04/8-9 天水利用計画

蔓延防止コロナ対も終了して、横浜の中華街などは人であふれかえっていました。桜も散りだいぶ暖かくなって来たので、偵察と天水利用計画の準備に行ってきました。いつもは松田の家から早朝（4時ごろ）に移動していたのですが、今回は9時ごろに出発しました。平日で天気も良く、渋滞を覚悟していたのですが、案外順調に走行できたのでコースタイム4時間30分のところを4時間で到着することが出来ました。山中湖あたりにはまだ残雪が多く、桜も3分咲きぐらい富士山・八ヶ岳・浅間山には残雪があり標高の高いところは冬景色です。ガソリンの値段が話題になっています。横浜で160円・長野では174円と高い！公共交通機関がない地方ほどコスト高になっています。

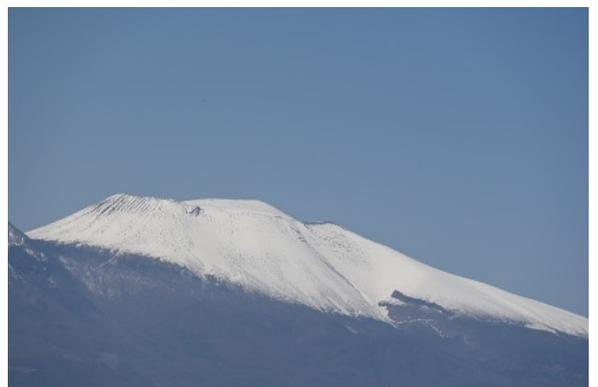
天水利用については、図書館から数冊の資料を借りて研究しました。天水は蒸留水のように安全で飲用にも適しています。ただ、降り始めの水には屋根などにたまった塵や砂などが含まれているので、それを排除する装置が必要になります。また、フィルター・砂利・炭などで濾過するとさらにきれいな水を得ることが出来ます。山荘ではトイレ・洗面・風呂などに使用したいと計画しています。大型の施設では武道館・学校・公共施設なども天水を利用してトイレ・冷却・生活水に利用されています。ログハウスとホールの屋根には唐松の落ち葉がたまるので、それをどうやって取り除くかがこれからの課題になりそうです。皆さまの知恵もお貸してください。

8日13時に山荘到着（途中で食事休憩・買い物などして）天候は快晴・気温13℃、湿度も低く快適です。4ヶ月ぶりの訪問なので、まずはログハウスの清掃から始めます。点検したところ、ネズミ（ヤマネ）の被害はなく、床もきれいでした。窓を開けて。テーブルをアルコール綿で拭き、床は掃除機で清掃。水や調味料、お茶、珈琲などの点検。室内もきれいになったので、購入してきた食材を冷蔵庫に保管してから、ベットを整え、シュラフをひいて寝る準備は完了。

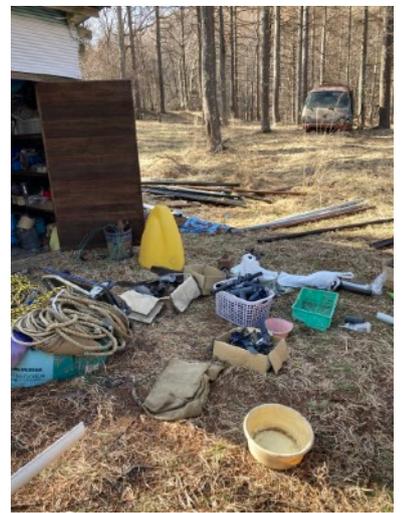
倉庫・ホール・キャビンなどの窓を開けて空気の入れ換え。16時ごろには点検と清掃が完了したので、薪ストーブを焚いて休憩！ビールで乾杯。持参した「還暦からの人生戦略」佐藤優著を読んで（2時間速読）夕食（お寿司）iPadにダウンロードしてきた映画を見てから就寝。

4月9日（土） 6時起床 外気温6℃ はれ

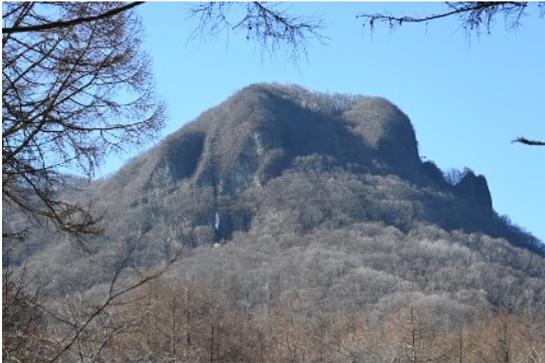
山荘に来ると熟睡するので、目覚めはスッキリ。キツツキ・鹿、小鳥のさえずりでうるさいくらいです。朝食はほうじ茶とヨーグルト。まだ外は寒いので、8時ごろまでは薪ストーブの前で読書と今日の予定を確認。



8時から倉庫の整理を行い、ホールとログハウスに取り付ける雨トヨの部品を整理しました。トヨとパイプ、支持する部品などは昨年春に屋根屋を廃業した人から頂いた物で、いつものように色・サイズ・メーカーも不揃いなので、使える部材をそろえるところからスタートです。トヨの長さは両方とも10m、集水した天水を送るパイプは60mmです。色が違うが何とか部材・部品はそろいそうです。その他にも水道用の25mmパイプやそれに使う部品など倉庫の中から引っ張り出して、整理しておきます。9時ごろ、尾方さん到着。作業の手順を確認してホール西側からトヨの設置を開始しました。トヨは天水が流れるように傾斜をつけなければなりませんから水系を



張って、トヨ受けの部品を設置します。そこにトヨを乗せて固定すれば出来上がりですが、同じような大きさなのですがメーカーが違うのか微妙に合わないところもあり、いつものように苦戦しますが、そこは臨機応変に現場あわせでボンド着けします。



午前中にホール西側が完成。タンク(500L)にはつながないので、パイプを伸ばして西側の崖に排水するようにしました。午後からはログハウス西側の設置作業を行います。距離が長く傾斜を取ることが難しいので両側から中央に集水してタンクを真ん中に置くことにしました。この場所は西日が当たりタンクの水が温まるので、太陽光を遮る対策が必要です。



15時ごろに作業終了、尾方さんお疲れ様でした。次回はタンクとの連結(オーバーフロー対策や濾過装置)水道の配管作業、ポンプの設置などです。横浜に帰ってから、濾過装置設計や部材調達など行います。



もう一泊する予定でしたが、時間も早いので片付けをして16時30分に山荘を出発、松田まで帰ることにしました。土曜日の夕方なので渋滞を予測して、須玉から一の宮御坂まで中央高速を利用しました。松田に着いたのが20時で所要時間3時間30分、高速道路で1時間以上短縮できて、渋滞もなく順調なドライブでした。次回は4月22日から24日を予定しています。